

2024年度 卒業制作

「少年隊の魅力を伝える為の次世代型歌詞カード制作」

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科
メディアスタディーズコース
指導教員 遠藤麻里
学籍番号 2152061
氏名 平松明花

作品概要

少年隊の楽曲を通して、少年隊の魅力を共有する為の製本である。私が大学時代において終始一貫して好きだったのが「少年隊」であり、大学で4年間かけて学んできたメディアデザインを用い、その集大成を一冊の著書に纏める。パンフレットと歌詞カードが一体となったような作品であり、楽曲を分析し、曲毎に自身の解釈をイラストなどオリジナルのデザインで表現した内容の本を作成した。

目的を達成できているかどうかを確認する為に展示会を行ない、アンケートにて調査した。

1.背景

1985年12月12日に「仮面舞踏会」でレコードデビューした少年隊だが、2020年12月31日を最後に錦織一清氏、植草克秀氏が事務所を退所し、現在はグループ名のみ存続されている状況となっている。

2人の退所前、デビュー35周年の日である2020年12月12日に『少年隊 35th Anniversary BEST』というベスト盤がリリースされ、X(旧Twitter)でのトレンド入りを果たす他、オリコンデイリーランキング1位、オリコンウィークリーランキング4位を獲得している。(図1,2)(※1)

年明け後の2021年も『令和の少年隊論』という書籍が発売されたり『It's SHOWTIME!』というラジオ番組が開設されたりするなど今日、少年隊が再注目されている。(※2,3)

トレンド

#アニメトレンド2020

Twitterのデータを元に今年のアニメを振り返る！ 20時から生配信。Netflixアニメも登場！

 Netflix Japan Animeによるプロモーション

1・J-POP・トレンド

...

#すこジャニ

40,708件のツイート

2・J-POP・トレンド

...

#少年隊35thおめでとう

5,107件のツイート

図1 X(旧Twitter)にて「#少年隊35thおめでとう」がトレンドランキング2位を獲得

2020年12月11日(金)

【アルバム(総合)】：全ジャンル



図2 オリコンデイリーランキングにて少年隊35th Anniversary Bestが1位を獲得

2.研究目的

少年隊の織りなす世界観に触れてもらうこと、それを共有することである。少年隊がターゲットにしていた層は当時10～20代であった女性であり、現在私がその対象である。その頃のファンがどのような情景を思い浮かべて少年隊の楽曲を聴いていたのかを想像し、現代を生きる現在の自身ならではの感性をもって1冊の本に表現する。

当作品を学内で展示することで、同年代またはこれまで少年隊と接点がなかった人が少年隊について興味を持つきっかけとなれば良いと思う。

3.手法

作品の表現方法として紙の本を選んだ。少年隊の活動が始まった1980年代は現在ほどメディア環境が発展しておらず、昭和、平成初期の時代に沿ったメディア媒体とすることでその世界観を生み出した。加えて実際に見て触れられるという利点を活かし、楽曲毎に用紙を変えた。作品そのものに面白味を持たせるとともに各楽曲の世界観に没入させ、少年隊という存在に親しみを覚えて貰うことが目的である。

また、楽曲が発表された当時に流行していたアニメ・漫画の作風を取り入れ、フリーイラスト素材などを使用せず全て手描きで表現することで時代性を演出した。当作品は私自身の心象であり、受け取り手によって様々な解釈ができる作品を作ること为目标とする。

目的が達成されたかどうかを確かめる手段として、実際に作品を見て貰った人に向けてアンケートを取り調査した。学内展示は2024年12月9日から12月16日はE棟1階ギャラリーにて、同年12月18日から12月24日はN1棟3階ラーニングコモンズで開催した。

3.1.使用ソフト

- ・ibisPaint X
- ・Adobe Fonts
- ・clip studio

ibisPaint Xで作業を行なった。仮面舞踏会のみ歌詞ページのフォントに一部Adobe Fontsを用いた。作品完成後はデータをclip studioに移行させPDF形式で書き出した。

3.2.制作工程

制作工程は以下の通りである。

5月～7月 本の内容・タイトルの決定、デザイン(ラフ)

8月～9月 権利問題について問い合わせ

～11月 原稿、脱稿、アンケート作り

11月25日 脱稿

12月9日 卒業制作展示会

4.制作過程

4.1.5月～7月の進捗

1)動機

類似作品をWebサイトで発見し、案を得た。(※4)

少年隊の楽曲はシックなジャズナンバーからバラード、情熱的なラテンナンバーまで多種多様であり、彼らが楽曲を通して魅せる多面性は魅力の一つであると考えている。

ところが現在発売されている円盤はCD、DVDともに1996年以降の作品のみであり、それ以前のは廃盤となっている。(※5)

尚、サブスクリプションも解禁されていない。ファンでない人が少年隊の楽曲を聴いたり映像を観たりするにはハードルが高く、口頭でその魅力を伝えるのにも限界がある。

そこで、少年隊の魅力を共有する方法として、少年隊がターゲットにしていたファン層が楽曲に対して思い描いたであろう情景を可視化し、少年隊と接点のなかった人からコアなファンにまで

寄り添った本を制作するのが良いのではないかという考えから、卒業制作のテーマとして取り上げることを決めた。

2)タイトルの決定

本のタイトルを「PAGE OF ONE'S YOUTH」とした。錦織氏、東山氏、植草氏が少年隊は青春であり部活のような場所であった(※6)と言及しており、世代でない私が少年隊を好きになったように、今日も誰かの人生という長い旅路の中で少年隊が青春となっているという想いを込めてつけた。

3)楽曲の決定

『少年隊 35th Anniversary BEST』を参照して楽曲を選択した。このアルバムにはシングル25曲の他、CD化されていないデビュー前の楽曲が収録されている。(※7)

シングルは発売年月日順にDISC1・DISC2に収録されており、DISC1の楽曲を前期シングル、DISC2の楽曲を後期シングルと定義する。(DISC3はシングルでない)

今回は人が一度に処理できる情報量に着目し、選曲を5曲に絞ることにした。

まず少年隊の代表曲であり、最も知名度のある「仮面舞踏会」「君だけに」の選曲は必須であった。

次に、採用するシングルの歌詞が類似していないこと、ユーロビートの要素が取り入れられた歌謡曲であり時代性とオリジナリティが最も表れた楽曲であること、売上の高さを踏まえ、「stripe blue」「ABC」を選んだ。

最後に、後期シングルの中で売上の高い「Oh!!」「湾岸スキーヤー」を候補とした。(※8)決定打となったのは作品を制作する目的であり同年代が少年隊に興味を持てるようになることに重きを置き、自身にとって印象深い楽曲を取り上げることに意義があるとし「Oh!!」を選曲した。

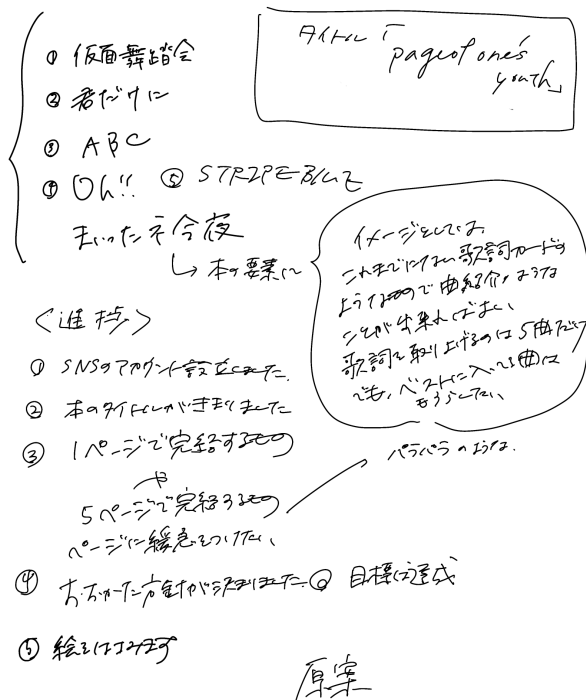


図3 構想についてメモ

4)イメージを固める

デザイン、ページ数等大まかな内容を考えた。その際、少年隊の楽曲を繰り返し聴くことを徹底した。(図4)

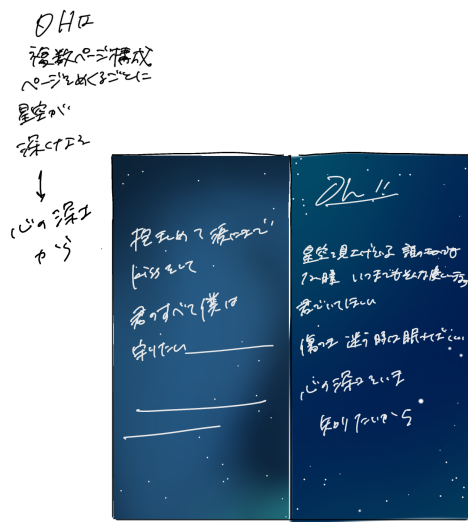
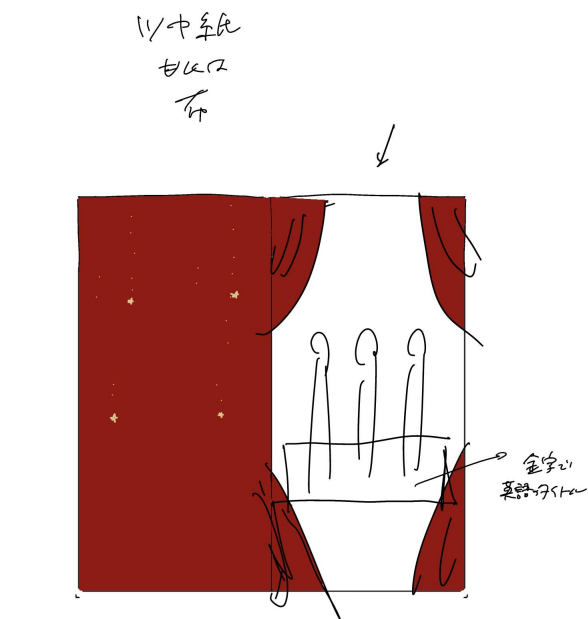


図4 6月時点の案

5)アカウントの設立

自費出版する方針で動いていた為、周知する目的でX(旧Twitter)のアカウントを開設した。

4.2.8月～9月の進捗

自費出版を計画していた為、歌詞の利用について日本音楽著作権協会(JASRAC)に問い合わせたところ、楽曲の権利源出版社であるブライト・ノート・ミュージックと日本テレビ音楽株式会社に歌詞の使用方法について承認を得た上で利用手続きに進めるとのことで、各楽曲の楽曲管理会社について回答を得た。

「仮面舞踏会」「君だけに」「ABC」「stripe blue」の楽曲管理会社がブライト・ノート・ミュージック、「Oh!!」の楽曲管理会社が日本テレビ音楽株式会社となっている。

その後両社に連絡を取ろうと試みたが、ブライト・ノート・ミュージックとコンタクトを取れるWebサイト、電話番号等が見つからなかった為、先に日本テレビ音楽株式会社に楽曲利用申請したところ「少年隊」というアーティスト名称が含まれている出版物を販売するのであれば「少年隊」という名称の使用許諾が必要との返答があり、本件について「少年隊」の名称を管理しているマネジメントに確認を取らなければならなかった。(図5)

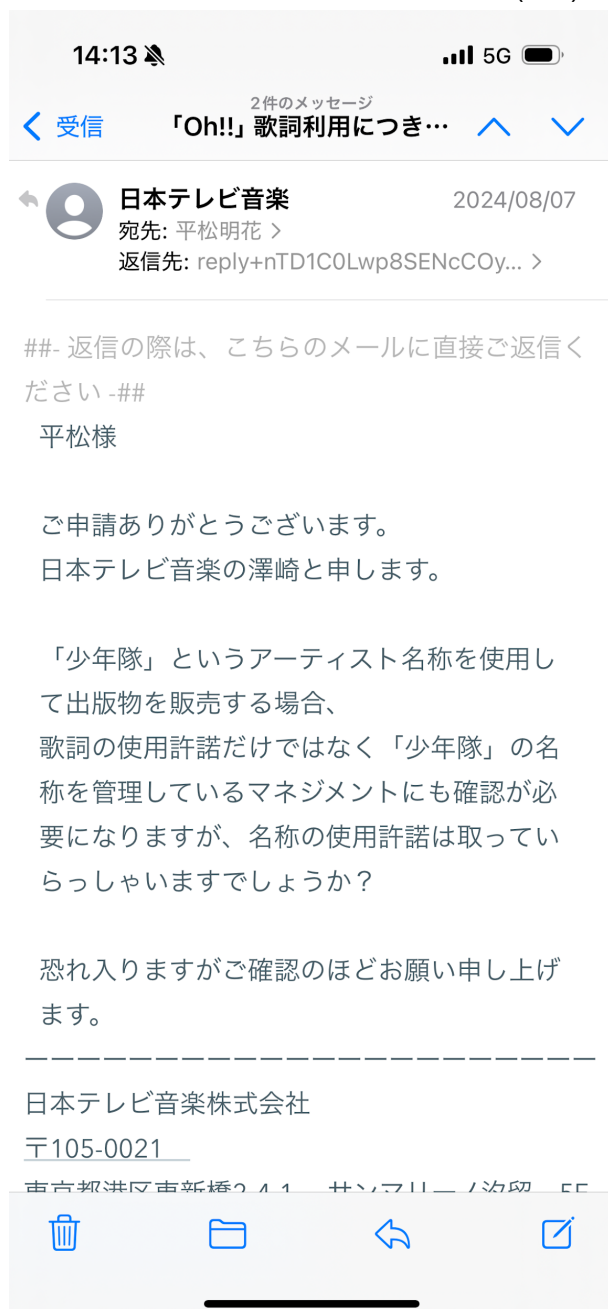


図5 日本テレビ音楽株式会社からの返答

しかしながら、現在少年隊のメンバーの籍はそれぞれ異なっており、錦織一清氏在籍の株式会社アンクル・シナモン、植草克秀氏在籍の株式会社2steps、東山紀之氏在籍の株式会社SMILE-UP.(旧ジャニーズ事務所)にそれぞれコンタクトを取る必要があった。

以上のことから許諾に関して権利問題が大変複雑な状態となっており、締切までに実現不可能であると判断し本の頒布は行なわない、つまり「配布はせず研究を目的とした製本にとどめる」ととした。

そのことについて再度JASRACに問い合わせをし、「教育機関において、先生又は生徒が授業の過程で行う複製について、必要と認められる限度において、著作権者の利益を不当に害することとなる場合を除き、権利者から許諾を得ずに複製できる」との回答を得られ、当作品を学術研究を目的とした同人誌として制作することを決定した。

4.3.10月～11月の進捗

印刷会社西村謄写堂との交渉、発注を行なった。印刷会社を選ぶ為にWebサイトを閲覧していたところ、当該会社のホームページを発見した。国内で流通されている紙を全て取り扱っていること、印刷用紙として使われていない壁紙や生地なども印刷用紙として取り扱っていること、少数部数の発注が可能であること等を踏まえ、特殊印刷や加工に特化している印刷会社であると判断し、当社に依頼した。入稿前に事前連絡し作品概要、本の綴じ方、予算を伝え、作品の進捗とイメージを共有していた。(図6,7)



図6 作品の進捗(一部抜粋)

各楽曲について補足説明

- ・ラフにはなりますが表紙、裏表紙は赤いカーテンコールのデザインを想定しています。

- ・「STRIPE BLUE」

夏の楽曲です。今後背景を加筆します。

- ・「仮面舞踏会」

白地の紙を切り絵のようにし、その背面に黒地の別紙を挟みたいと考えております。
イメージとしてはこのような形です。



- ・「ABC」

背面にデニム生地を、レコード盤にはツヤのある素材を使用したいと考えております。

- ・「君だけに」

星を印刷した透明な紙を挟んだら綺麗になるのではないかと考えております。地球と波にキラキラした感じを出したいです。

目次、歌詞のページ、残りの1曲は大幅に変更する可能性があり、本日はお送りしております。

図7 作品のイメージを共有する際に用いたメモ

入稿後は担当者に表現したいデザインを具体的に伝え、予算内でどこまで理想に近づけることができるかを常々交渉し、用紙の選定や特殊紙の仕上がり確認を行なった。(図8,9)

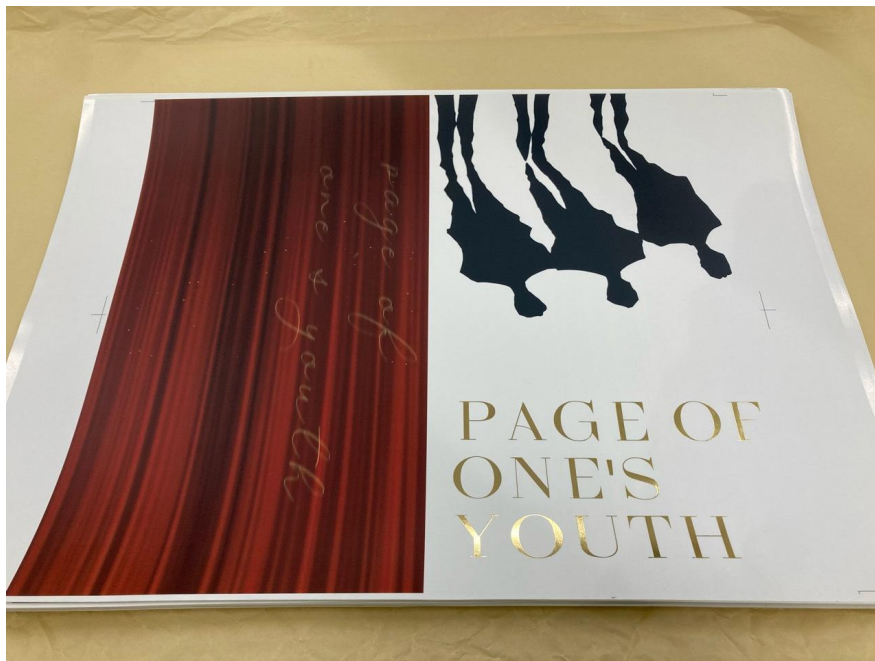


図8 表紙、裏表紙の仕上がり確認作業



図9 特殊紙の仕上がり確認作業

以下は最終段階での印刷所への注文内容である。

ポストカードブックの製本

・仕上がりの寸法: 181mm*320mm

・無線綴じ

・左綴じ

・表紙

紙: アートポスト<180>

印刷: フルカラー4色

加工: マットPP+箔押し【ツヤあり金】

・中身

内訳: コート2枚、特殊紙5種

・「stripe blue」【ヴァーグ】

・「君だけに」【ルリオン】

・「ABC」【ぬのがみ】

・「Oh!!」【きらびきPL】

・「仮面舞踏会」【Vマット】

・裏表紙

紙: アートポスト<180>

加工: マットPP

備考: 14ページ、計13枚の紙を製本。両面印刷がかかる箇所は「仮面舞踏会」のみ
部数: 3

計33000円



図10 台割表

5.作品解説

作品自体を少年隊主演のオリジナルミュージカル「PLAYZONE」と見立て、実際のセットリストに準じた進行で楽曲の順番を決定した。また、物品販売のパンフレットを想起させるサイズと質感に拘り、物理的な側面からも作品をデザインした。

1)表紙

少年隊のパンフレットやブックレットの表紙には顔写真よりもテーマに沿ったシンプルなデザインが起用されていることが多く、それを忠実に再現した。選出曲を5曲に厳選している為「君がいた頃」というシングルの要素をシルエットに散りばめた。

2)stripe blue p2～p3

1987年3月3日にリリースされた5作目のシングルである。フォントは新レトロ丸ゴシック、GROCE FREE REGULAR、Mantou Sansの3種類を使用した。ホログラムが水面のように煌めく紙質、特殊紙ヴァーグを選定することで涼しげかつレトロな印象を持たせた。原案ではp3のタイトルロゴにデジタルニス加工を検討していたが、印刷用紙にツヤがある為視覚効果が薄れるとして取りやめることにした。作中では5曲中1曲目のシングルとなっており、少年隊がどのようなメンバーで構成されているのかを紹介する為に挿絵を入れた。

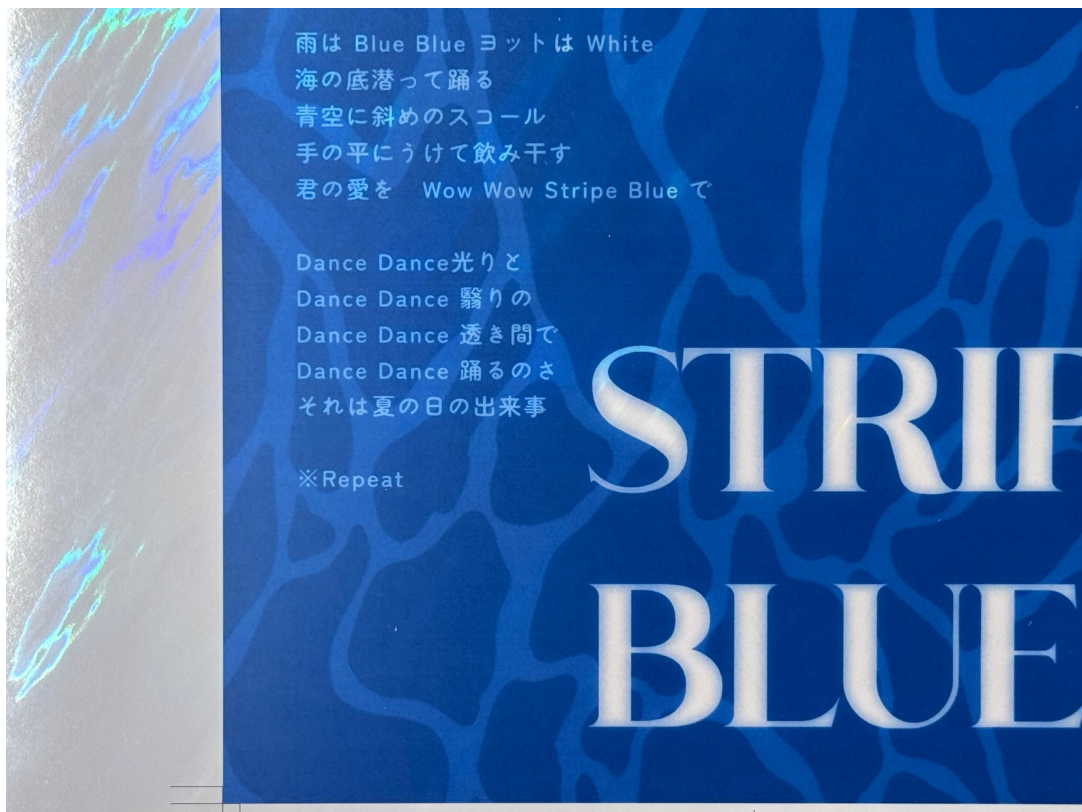


図11 特殊紙ヴァーグ



color.adobe.com



図12 「stripe blue」を制作するにあたり使用したカラーパレット

アンケートの感想としては、

- ・昭和レトロな感じが、すごく気に入りました。
 - ・紙のツヤツヤした素材とイラストやカラーの爽やかさがとても合っていて、曲の雰囲気と自然とイメージさせるような印象でした。素敵です！！
 - ・水面が輝いている感じが好みでした。
 - ・可愛い
 - ・アニメがとても綺麗に描けているので
- という回答が得られた。

3)君だけに p4～p5

1987年6月24日にリリースされた6作目のシングルである。フォントはIPA P明朝を使用した。

1970年代以降のオカルトブーム禍に生まれた作品の要素を複数絡め、イラストとして表現した。

「君だけに」は1987年8月1日に公開された少年隊が主演のSFアクション「19 ナインティーン」の主題歌であり、惑星をモチーフに一途な恋愛を歌っている楽曲である。惑星、海、星の煌めきを表現する為に特殊紙ルリオンを選定した。

また、1986年末から1994年にかけて「花とゆめ」で連載された「僕の地球を守って」というSFファンタジーの要素も持たせた。作中人物の姓が少年隊のメンバー、錦織氏から来ている為である。かつて月基地から地球を観察していた科学者であった7名の男女が、前世の記憶を持って現代日本に転生し再びめぐり逢い、物語は繰り広げられる。この作品も「君だけに」と同様、惑星がモチーフとなっている。

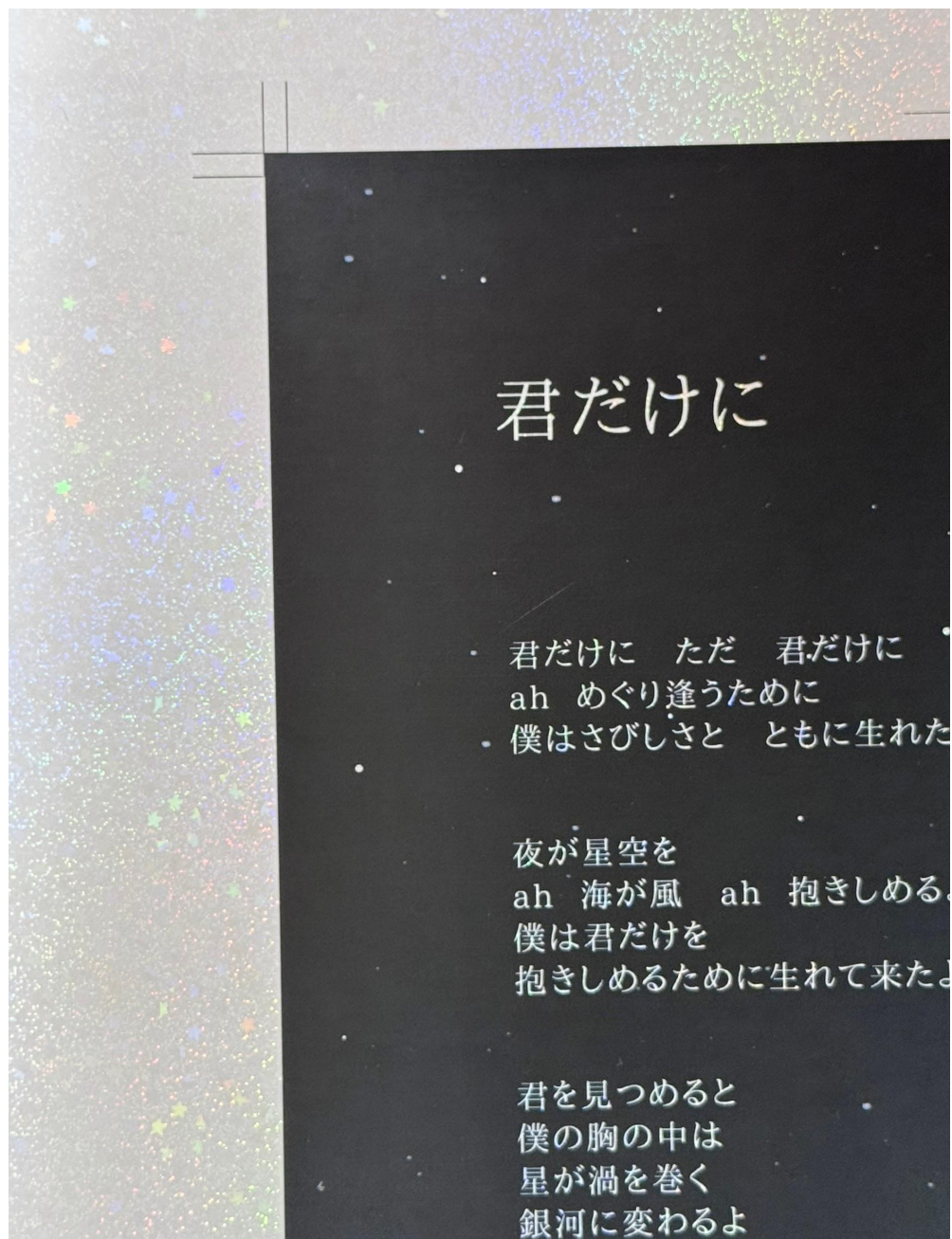


図13 特殊紙ルリオン



図14「君だけに」を制作するにあたり使用したカラーパレット

アンケートの感想としては、

- ・紙の種類と曲があっていると思いました！
 - ・星空の雰囲気と紙質(オーロラ)が合っていて綺麗だった
 - ・手書きで書いたと聞いて、すごいと思ったから
- という回答が得られた。

さらにp5作品上部中央の描写は地球を構想したイラストであったが、「『星の神話』という歌詞や雰囲気にピッタリな静かな夜の海に大きく浮かぶ丸い月、水面が星の光でキラキラと輝く様子、歌詞がまるで星の銀河の様に美しく輝く加工など歌詞に合わせたイラストと加工選択のセンスが高く、とても心

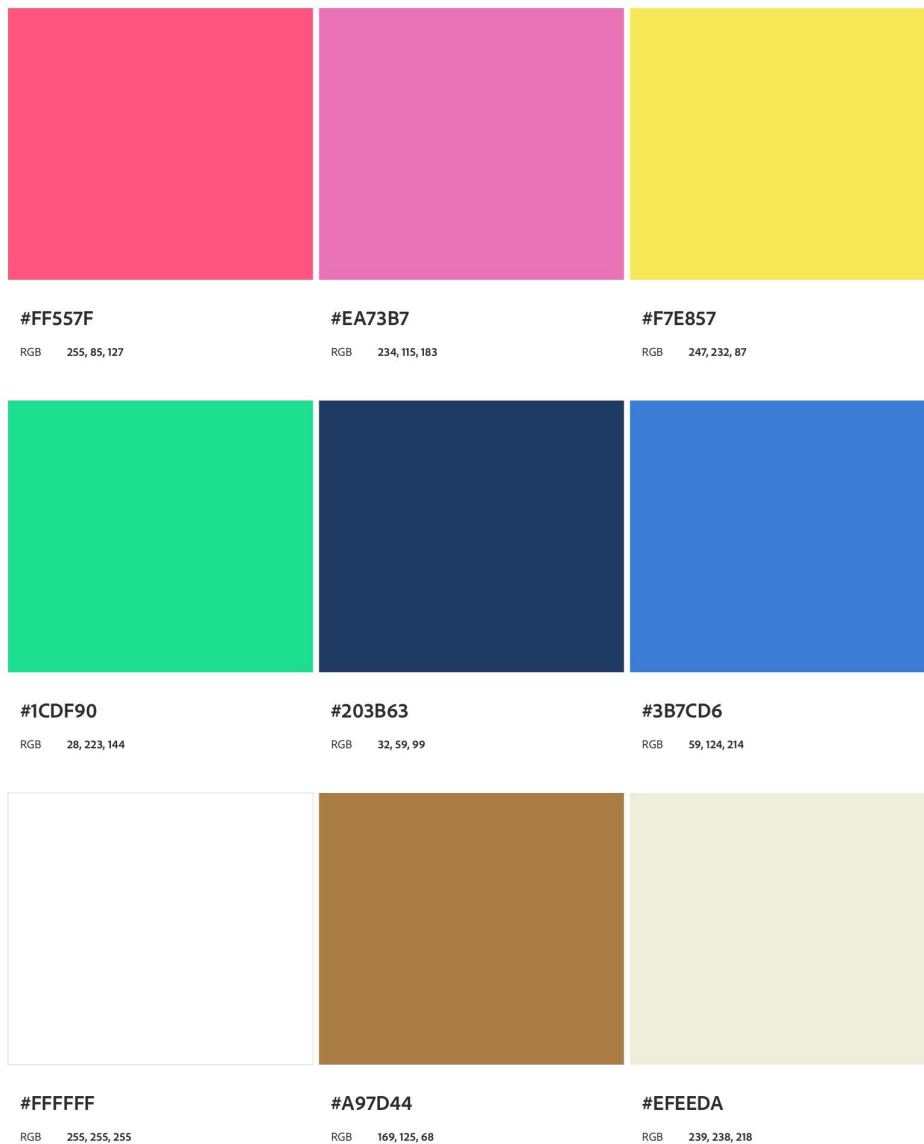
惹かれました。」という感想があり、受け取り手によって様々な解釈をすることのできる作品を作るという目標を達成できた。

4)ABC p6～p7

1987年11月11日にリリースされた7作目のシングルである。少年隊が着用していた衣装からデザインを拝借した。原案ではデニム生地への印刷を想定していたが少数部数の発注ができず、紙でデニム素材を表現することにし、特殊紙ぬのがみを選定した。印刷方法は版を必要とせず小ロット印刷でもコストを抑えられるデジタル印刷で行なった。フォントはキッチンカタカナ、M+2c、ヒラギノ角ゴシック W8、Rockville Solid Regularの4種類を使用した。



図15 特殊紙ぬのがみ



color.adobe.com



図16「ABC」を制作するにあたり使用したカラーパレット

アンケートの感想としては、

- ・紙の質感とデザインが曲の印象とマッチしていると感じた。
 - ・曲名がすぐ目に入ってくるから。ポップでかわいい
 - ・紙の質とインク乗りを考えてあるから
 - ・とてもカラフルで明るい色ばかりなのがとても好みでした。
- という回答が得られた。

5)Oh!! p8～p10

1995年12月1日にリリースされた20作目のシングルである。発売日に則り冬の空気感を感じられるような色合いにし、印刷用紙はパール調の淡い光沢をもつのが特徴である特殊紙きらびきPLを選定した。タイトルロゴは「Oh!!」のジャケットに使用されているフォントを模倣した自作である。歌詞のフォントにはIPA P明朝を使用した。

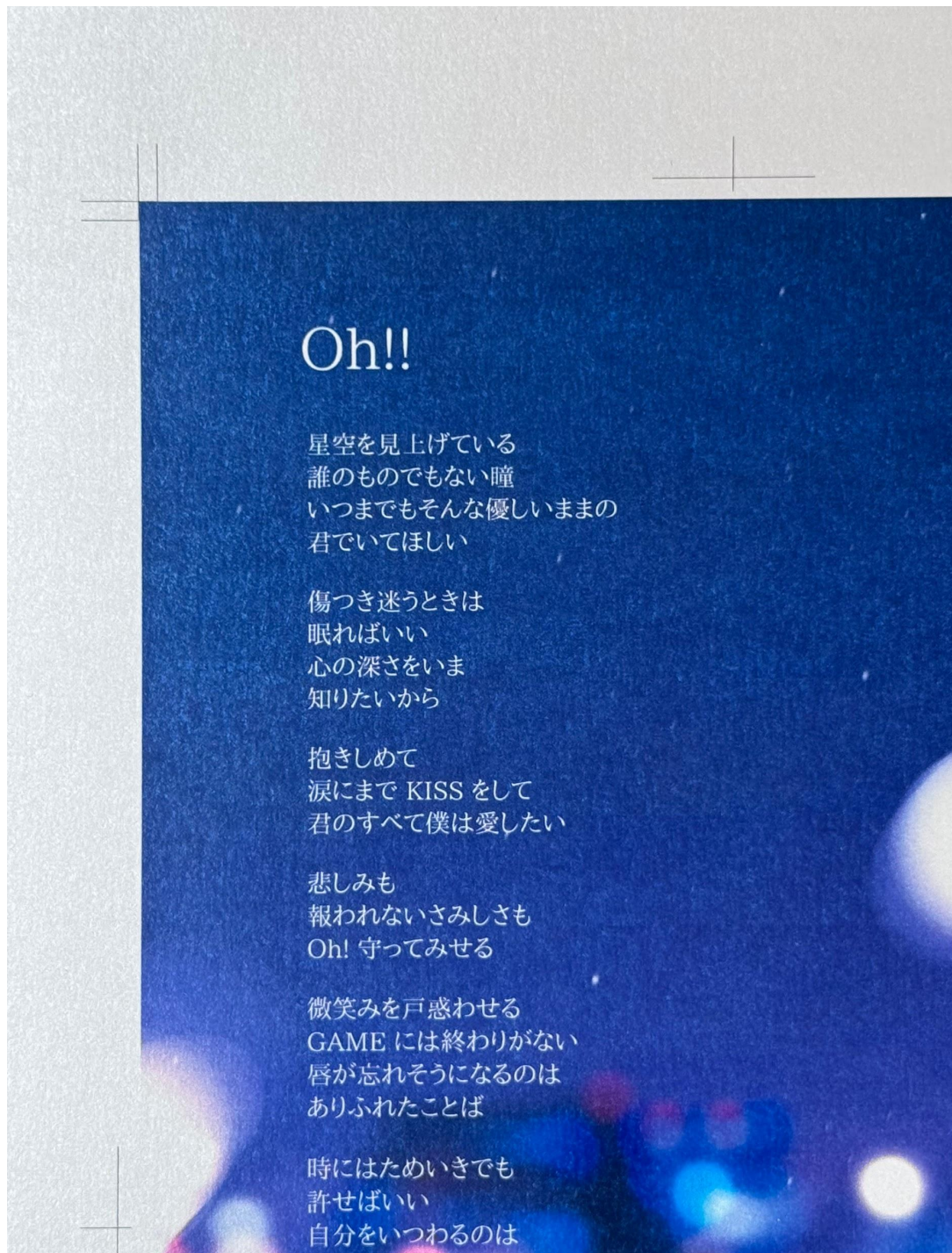


図17 特殊紙きらびきPL

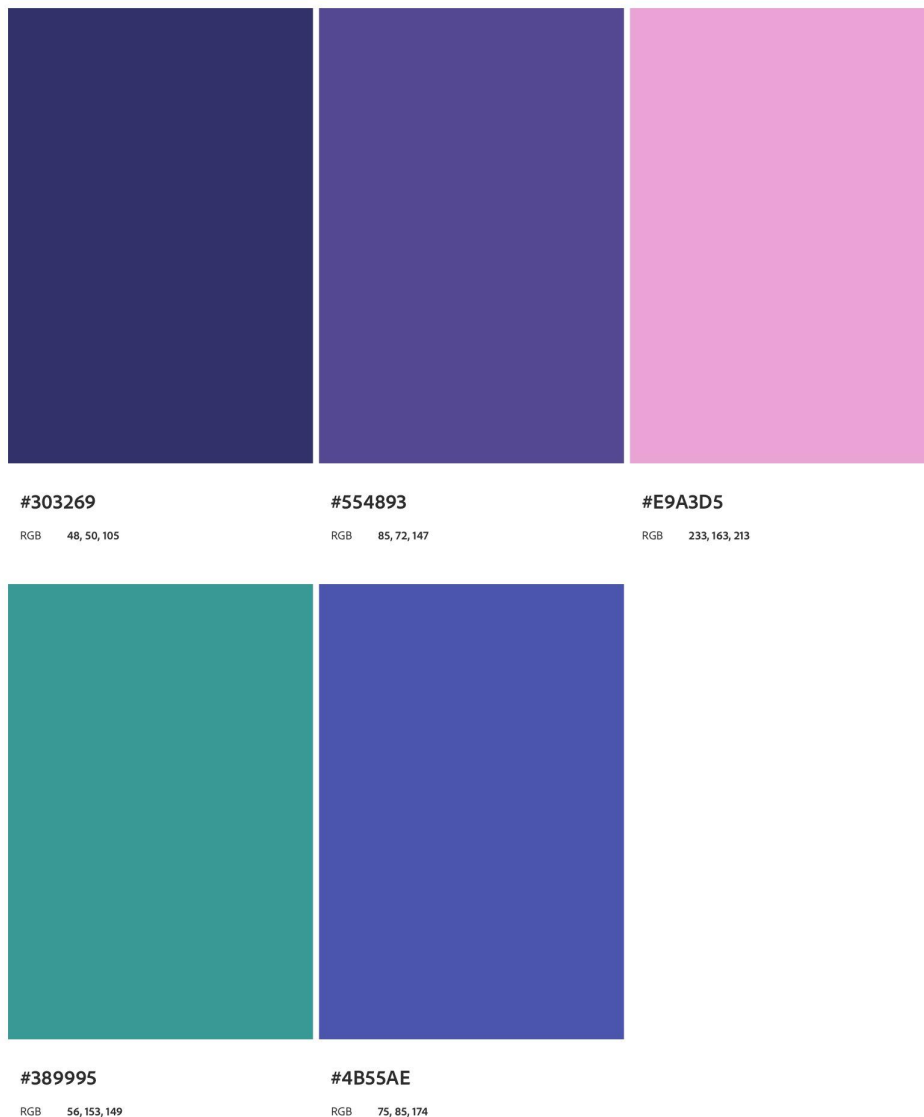


図18 「Oh!!」を制作するにあたり使用したカラーパレット

曲名が奇抜である為p8を全面に使いタイトルが強調されるようなデザインとした。また、背景の構想としては雪夜を見上げている描写ではあるが、光が飛び散っているようにも見えるデザインとし、読み手によって想像の余地を残すような表現にした。

p9では「君だけに」との差別化をはかり、星空を描写せずともその要素を連想し得るようなデザインとした。

当楽曲は「ザ・シェフ」というテレビドラマの主題歌となっており、主演を東山氏が務めている。この頃になると東山氏に歌い方の変遷が見られ、p10では「stripe blue」のリリース時から成長したメンバー(東山氏)の表情が見られるようにした。



図19 p10の原案



図20 p10の成案

アンケートの感想としては、

- ・ohの文字の1ページが強く印象に残ったからです
- ・紙の質感とか、色合いとかが可愛かった

という回答が得られた。

今回5曲のうちどの作品のデザインが好みだったかという質問に対して、入った票が最も少数となった。その原因として、楽曲自体がマニアックなものであること、残りの4曲と比べインパクトとレトロなテイストに欠けること、全体的に濃い色で視認性が低かったことが考えられる。

6)仮面舞踏会 p11～13

1985年12月12日にリリースされた少年隊のデビューシングルである。印刷用紙にマットコート紙の一種であるVマットを選定した。タイトルロゴのフォントには黒薔薇ゴシックを、歌詞の日本字には棘薔薇ボード、英字にはDefault(Bold)を使用した。p13ではABドラミンと自作したフォントを一部使用している。

p11では"シンプルながら華やかなデザイン"を目指した。切り絵をイメージしたモノクロとし、さらに白黒の割合が黄金比(1:1.618)に近くなるよう調整した。

「仮面舞踏会」は少年隊の代表曲で、旧ジャニーズ事務所に所属していた後輩にも歌い継がれる最も知名度の高い楽曲である。その元祖は少年隊であることを周知する為にp12の背景には錦織氏、植草氏、東山氏のメンバーカラーを使用し、見開きで表現した。



図21 特殊紙Vマット

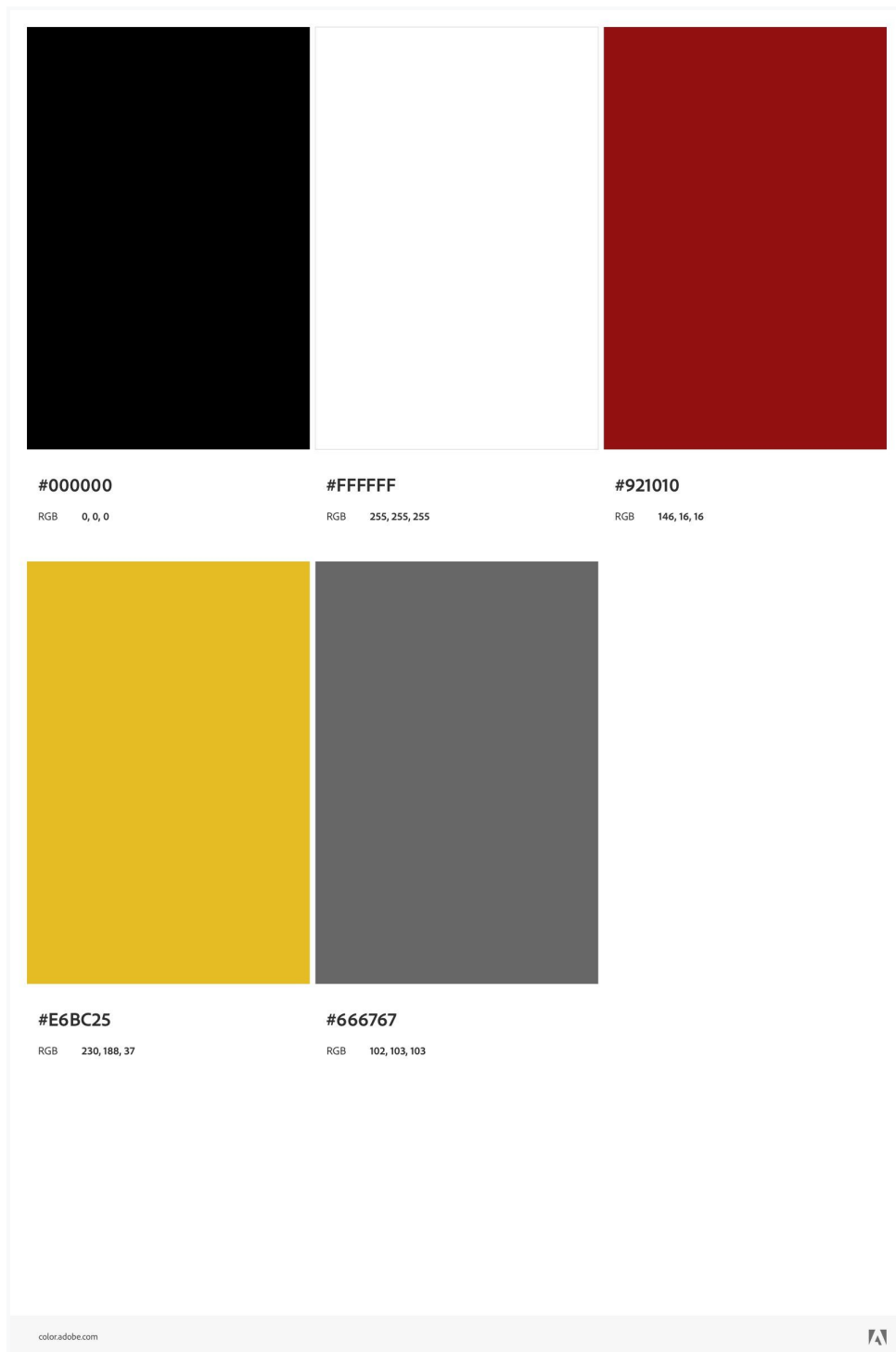


図22 「仮面舞踏会」を制作するにあたり使用したカラーパレット

アンケートの感想としては、

- ・最もその曲らしさが表現されていた
- ・シンプルなように見えて奥が深すぎるから
- ・何回も聞いたことがあるから。
- ・年代を感じたし、マットな質感が良かった。
- ・薔薇のデザインが良いと思いました。
- ・あえて色合いを白黒にしている曲のかっこよさが逆に伝わってきた。
- ・曲のイメージとあっている

- ・イメージに合っているから
 - ・聞き馴染みがあるから
 - ・心に残りました
 - ・カッコいいから！凝ってる！
- という回答を得られた。

7)裏表紙

終幕の意を込めて緞帳のデザインとした。

8)作品概要のポスター

目を引くビジュアルを心掛け、ネオン看板をイメージした配色とキャッチコピーを用いた。作品下部にはチケット風のデザインを取り入れ、同じく「推し」を持つ者に共感を呼び、作品を手取るよう誘導した。

作品概要

当方が大学時代において終始一貫して好きだったのが「少年隊」であり、大学で4年間かけて学んできたメディアデザインを用い、その集大成を一冊の著書に纏める。

1985年12月12日に「仮面舞踏会」でレコードデビューした少年隊。彼らのターゲット層は当時の10～20代女性であり、現在の私がそれに当てはまる。現代を生きる現在の私ならではの感性を本に纏め、ここに研究を完結させる。

目的

- ・少年隊の織りなす世界観に触れて欲しい
- ・それを共有したい

その方法として、当時のファンが少年隊の楽曲についてどのような情景を思い浮かべて聴いているのかを想像し、自身の感性をもって纏める。選出曲はシングルより5曲。

そして、当作品を学内で展示することで同年代が少年隊について興味を持つきっかけとなれば良いと思う。

手法

- ・80～90年代のデザインに近づける。
- ・曲ごとに紙質を選定する。

また、当作品は私自身の心象であり、受け取り手によって様々な解釈ができる作品を作る。

少年隊って

こんな

にすごい！

PAGE OF ONE'S YOUTH

SHONENTAI PLAYZONE 2024

2024.12.9 (月) ▶ 12.16 (月) 開演/9:00 終演/17:00

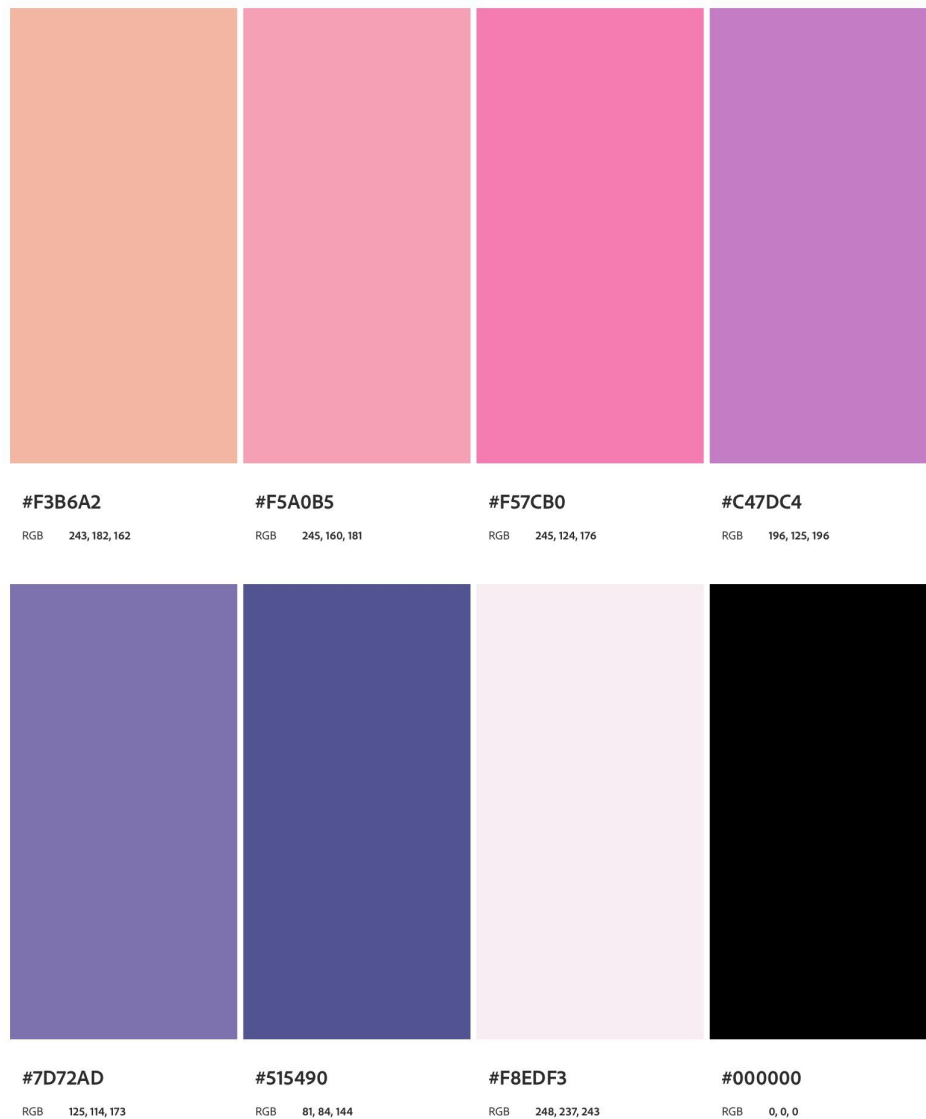
名古屋 金城学院大学 名鉄瀬戸線「大森・金城学院前駅」より徒歩5分

主催：平松明花
企画：遠藤麻里ゼミ 4年
お問い合わせ：m2152061@kinjo-u.ac.jp

E棟 1階 A列 1番

QRコードとハートマーク

図23 作品概要のポスター



color.adobe.com



図24 作品概要を制作するにあたり使用したカラーパレット

6. アンケート結果

作品制作後は、Googleフォームを用いて以下のアンケートを実施し、26件の回答を得ることができた。

1) 身分を教えてください。

身分を教えてください。

26 件の回答

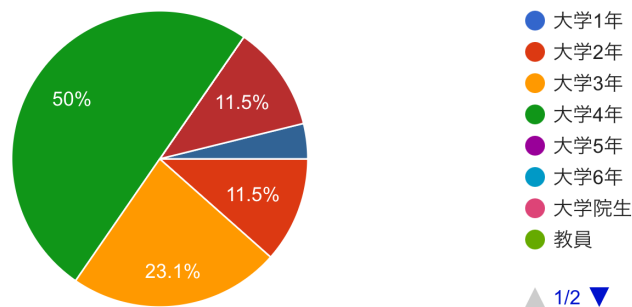


図25 身分に関するアンケート

今回は学内の展示会で当作品を閲覧した人が対象となっているアンケートである為、学校関係者と作品を制作する過程で関わりのあった関係者のみの回答となっている。

その中で最も多数であったのが大学4年の50%、次いで大学3年の23.1%、大学2年の11.5%、その他が15.3%という結果になった。

2)少年隊というアイドルグループを知っていますか。

少年隊というアイドルグループを知っていますか。

26 件の回答

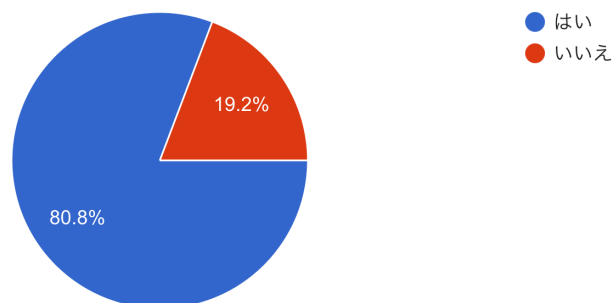


図26 少年隊の知名度に関するアンケート

全体のうち「はい」と回答した割合は80.8%、「いいえ」と回答した割合は19.2%となり、少年隊の知名度は4人あたり1人の割合であるという集計が取れた。

したがって、少年隊自体は知っているものの、推し活には繋がっていないということが伺える。

3)5曲のうちどの作品のデザインが好みでしたか。

5曲のうちどの作品のデザインが好みでしたか。

26 件の回答

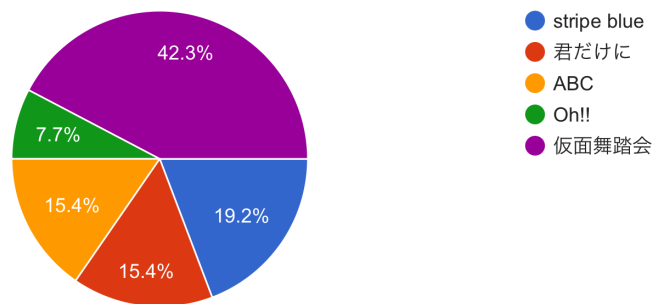


図27 デザインに関するアンケート1

全体のうち「仮面舞踏会」は42.3%、「stripe blue」は19.2%、「君だけに」は15.4%、「ABC」は15.4%、「Oh!!」は7.7%となった。「仮面舞踏会」の割合が最も高く、「君だけに」「ABC」は同数となった。

4)その理由を教えてください。

5.作品解説にて記載した通りである。

5)デザインから曲の概要、世界観が伝わりましたか。

デザインから楽曲の概要、世界観が伝わりましたか。

26 件の回答

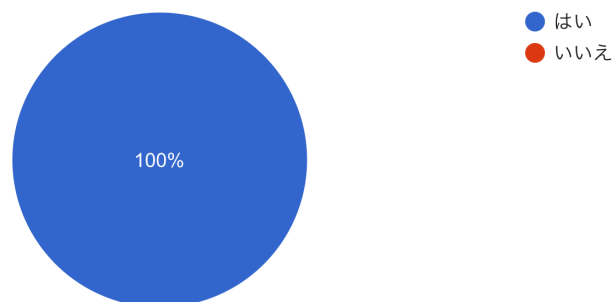


図28 デザインに関するアンケート2

「はい」という回答が100%となっており、客観的に見て自身が少年隊の楽曲に対して思い描く世界観とデザインの解釈が一致していることが分かった。

6)当作品を閲覧したことにより、少年隊に興味を持てましたか。

当作品を閲覧したことにより、少年隊に興味を持てましたか。

26 件の回答

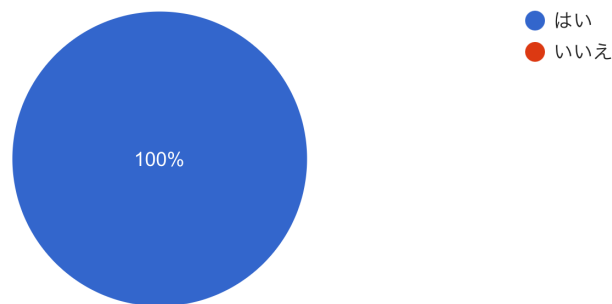


図29 作品閲覧後の少年隊に関する興味の有無のアンケート

「はい」という回答が100%となっており、当作品を通して少年隊の魅力を共有することができた。

7)感想を頂けましたら励みになります。

最後の質問では任意回答で感想を伺った。

・音楽と2Dを繋ぐというのは、ある意味で印象を与えすぎて難しいことだと思いますが、本作品は5曲とも素晴らしく表現されていると思います。

・デザインだけではなく印刷・製本に掛ける愛が素晴らしい作品でした。時代の雰囲気と魅力を損なわず、現代に合わせてアップグレードさせた歌詞カード、イラスト一枚一枚にこだわりと思いが感じ取れる、大変心惹かれる1冊でした。

・1ページ1ページ細部まで拘られていて、めくる度に驚かされる作品でした！

・紙の質にもこだわって制作していたので、曲とテーマがすごくあっているなと思いました！！

・個人的に表紙のデザインが好き。POPの色合いもかわいしいし、ライブポスターみたいで好き。

・オタクの愛のかたまりを見られて満足

・どのページも丁寧に作られていて素敵だなと思いました。

・全ページに愛とこだわりを感じて、とても素敵でした。冊子のサイズなども特徴的で、とても魅力的でした。

・背景や紙質からこだわりが見えて面白かった

・すべて毛色の違うデザインで、見ていて楽しかったです。少年隊への愛が伝わってきました。

・本当のパンフレットのようにとても完成されていると思いました。

・ポスターが可愛かった

・選べないくらい全部素敵でした！

・これだけ人を突き動かす力があるのが凄いと思いました！

・全て手書きと聞いてとても驚きました。

・すごい細かいところまで作り込まれていて、素晴らしかったです。

・少年隊自体はかなり前に結成していたグループだけど当時のかっこよさ、キラキラを感じさせつつ古臭く感じさせていない点がすごいと思いました。

・とてもクオリティが高くてびっくりしました。少年隊への愛情がとても感じられて良かったです。

・絵が素敵でした！

・東山さんかっこいいですね！

・頑張ってください!!

・凄い

感想を集約すると、ページ毎に毛色の違うイラストや紙質が見られて面白かったという回答、少年隊への愛情が感じられたという回答、少年隊は39年前に結成されたグループだが時代の雰囲気と魅力を損なわず音楽を2Dとして表現することができるという回答が主となった。以上のことから大学で4年かけて学んだメディアデザインを活かし、少年隊の魅力を伝えられたのではないかと考える。

7.まとめと今後の課題

上記のアンケート結果を踏まえ、少年隊に興味を持つことができたという回答を100%得られたことから、作品を通して少年隊の魅力を共有するという目的が達成されたと言える。改善点や今後の課題、研究成果など幾つかの視点から当作品について振り返る。

最初に、反省点として印刷会社との連携を早期から進めるべきであったことが挙げられる。これまで製本の経験がなく、原稿入稿の段階で印刷会社に問い合わせをするという算段で動いていたが、楽曲をデザインする工程に想定より時間を要し、スケジュールが大幅に遅延した。さらに特殊紙を用いることによるデザイン調整も必要であり、結局印刷会社にはラフ原稿を共有することとなった。

入稿後は納期が迫った状況で塗り足しができないといったデータ不備や特殊紙ぬのがみについて性質上、発色に限界があるとの報告を受け、塗り足しの作成や色味の調整、イラストの加筆修正等を行なった。その結果、本入稿までに3日程かかり印刷会社側に負担をかけることになってしまった。

また、著作物の利用許諾、少年隊という名称の使用許諾についても時間と作業量の兼ね合いがつかず自費出版を見送ることになったというのも事実である。制作における今後の課題は、構想の段階で印刷会社や著作権管理会社に連絡をし、連携を進めることである。

次は作品概要のポスターに工夫点を明記すべきであった。展示会に立ち合い作品について直接説明する機会があったが、見所を伝えたところ驚きや関心を示す反応が得られた。これは、制作者として作品に込めた意図や熱量が十分に伝わっていなかったことの表れではないだろうか。作品への理解、関心を深めるには限られた時間内で読み手が作品の概要と特長を把握することであり、自身が伝えたい情報と人が知りたいであろう情報を優先的に記載する必要があったと言える。

研究成果としては楽曲のイメージを可視化したことで、例えば「君だけに」と「Oh!!」はどちらも星を歌っている歌でありながらも星の意味合いが違うといった各楽曲が持つ共通点と相違点なども見えてきて、より楽曲に対する理解と解釈が深まった。当初は少年隊のシングル25曲を全て取り上げる予定であったが、人が短期記憶できる情報量に着目し選曲を5曲に絞ったことによって、少年隊の楽曲について自身が考える魅力を凝縮でき、その旨を伝える導入となる本が制作できたのではないかと考える。

少年隊の知名度自体はある程度あるということ、当作品を閲覧したことで「少年隊に興味を持てた」という回答が得られた為、今後はどのようにすれば少年隊を「推す」行為に繋がるのかといった視点を踏まえ、少年隊の魅力を伝える方法について日々考えていきたい。

引用・参考文献

※1<https://www.oricon.co.jp/prof/219396/products/1372418/1/>

少年隊 35th Anniversary Best ORICON NEWS(検索日:2024年12月26日)

※2<https://www.achibook.co.jp/books/2176/>

令和の少年隊論 アチーブメント出版株式会社(検索日:2024年12月25日)

※3https://x.com/nkh_19851212?s=21&t=dhDxJGVj6JdPZgalkBVBBw

『It's SHOWTIME!』ラジオ制作実行委員会【公式】

(検索日:2024年12月25日)

※4<https://maidonanews.jp/article/13395234>

「思わず見とれてしまう卒業制作...1本の赤い糸で赤いスイートピーの歌詞を刺繍した作品に「すごい！」まいどなニュース

(検索日:2024年12月17日)

※5<https://www.elov-label.jp/s/je/page/discography?ima=0953&tpar=J0001>

DISCOGRAPHY | 少年隊 - ELOV-Label(検索日:2024年12月15日)

※6<https://jisin.jp/entertainment/entertainment-news/1594683/>

「僕にとっては青春」少年隊が振り返る舞台『PLAYZONE』 女性自身(検索日:2024年12月20日)

※7<https://www.elov-label.jp/s/je/discography/JECN-0608>

少年隊 35th Anniversary Best - ELOV-Label(検索日:2024年12月28日)

※8<https://www.oricon.co.jp/prof/219396/rank/single/>

シングル売上TOP20作品 - 少年隊 ORICON(検索日:2024年12月28日)

・

https://secure.okbiz.jp/faq-jasrac/helpdesk/show?site_domain=jp&incident_id=197429&category_id=57

JASRAC 一般社団法人日本音楽著作権協会 FAQ

(検索日:2024年12月15日)

・<https://nishimura-p.co.jp/>

西村膳写堂(検索日:2024年12月12日)

・<https://color.adobe.com/create/color-wheel>

Adobe color カラーパレットジェネレーター

(検索日:2024年12月26日)

・

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdNCMuSPrvnMI6HMNz4q2I-Dy3WjXZkZsOd0j9gGefDkt2L0w/viewform?usp=sf_link

「PAGE OF ONE'S YOUTH」卒業制作アンケート Googleフォーム(検索日:2024年12月31日)